

令和3（2021）年度

## 地域学校協働活動推進員養成研修⑤ 実施報告

実施日：令和3年10月19日（火）

地域学校協働活動推進員養成研修（第5回）では、地域学校協働活動推進員として必要な「地域情報収集のポイント」について学び、受講者自身が主体となって事業を計画・立案し、活動を進めていくためのノウハウについて理解を深めました。

講話・演習「地域情報の収集・活用の方法  
～多様な主体との連携・協働～  
小山市市民活動センター「おやま～る」  
事務局長 小針 協子 氏



午前は、「地域情報の収集・活用はコミュニケーションから」をテーマに、どのようにすれば地域情報を収集できるのかについて学びました。はじめに、コーディネーターとしてのコミュニケーションのとり方や、現状を効果的に発信する重要性について説明いただきました。また、協働活動に関する地域の事例についても紹介いただきました。

その後、コーディネーターの視点でみた地域の課題や関心のあることと、地域の望ましい姿・ありたい姿について考え、ブレイクアアウト

ルームで共有しました。そして、望ましい姿・ありたい姿に近づくために自分たちができる活動について考えました。

午後は、午前の演習で考えた自分たちができる活動から、各班でテーマを一つ決め、実際に事業を計画する演習を行いました。事業を計画するポイントをおさえた9マスシートを活用し、事業を立案しました。望ましい姿の実現に向けての活動について、一人一人が様々なアイデアを出しながら取り組んでいました。その様子から、自分たちの地域をよりよくしたいという受講者の熱い思いが伝わってきました。



地域学校協働活動推進員として、自らが地域情報を収集し、事業の企画ができるスキルをもつことは、今後の活動の幅を大きく広げることにつながります。受講者自身が主体となり、事業計画を作成することは難しい演習でしたが、地域住民が中心となって活動をする大切さを感じることができたようです。

\*\*\*\*\*

### 【受講者の感想から】

○今回の小針先生の講話では具体的に活動を企画していくという実践的なもので、これからのボランティアを企画、運営していく上でとても勉強になりました。他の方と意見を出し合うことで、同じねらいでも様々な意見がでること、話を深く掘り下げていくことの大変さを学びました。

○子どもたちが、自分の住む地域に関心や喜びをもって成長していけるようになるためには、私たち地域の大人が活動を企画し、進めていく事で、子どもたちの成長に関わることがとても重要だと思いました。

○地域や学校は、課題を見つけて解決することに意識が向いてしまいがちですが、「何のために」という目的・目標を共有できる関係を築いていけるといいと思いました。

○情報収集+コミュニケーション、つなぐことの大切さやつなぎ方について具体的に学ぶことができました。9マスシートを上手く活用し、地域住民のニーズを拾うことを心がけて活動を設定していきたいと思えます。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで  
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp